

研究課題名 (倫理委員会承認番号)	慢性硬膜下血腫に対して MMA 塞栓術を実施した症例の検討 202605
当院の研究責任者(所属)	阿久津壮 (脳神経外科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	慢性硬膜下血腫 (CSDH) に対する中硬膜動脈塞栓術 (MMAE) の有効性の報告が増えているが、dangerous anastomosis の存在による患者ごとのリスクがある。塞栓物質の検討など、過去の症例から検討し、報告する。
調査データの該当期間	2022 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 7 月 31 日
研究の方法 (対象となる方)	上記期間に当院で中硬膜動脈塞栓術 (MMAE) を施行した患者。 【除外基準】 本人、あるいは代諾者から承認の得られない患者 医師が不適切と判断した患者
研究の方法 (使用する情報)	(1) 研究方法 当院で実施した、慢性硬膜下血腫 (CSDH) に対する中硬膜動脈塞栓術 (MMAE) の患者 12 例の画像・背景を後方視的に検討する。 (2) 解析方法 (本院で ☐ 実施しない ☒ 実施する) (3) 評価項目・方法
資料・情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	翠清会梶川病院 脳神経外科 阿久津 壮
備考	